



図書館キャラクター  
らぶちゃん

## テーマ:地域に向けた活動

### おはなしレストランライブラリー利用者の子どもに向けた活動

※本学にある絵本専門図書館

#### ○目的

おはなしレストランライブラリーと連携して利用者の子どもたちに読書や本に親しむきっかけにしよう。

#### おはなしマラソン

##### ○概要・工夫している点

- ・読んだ絵本のPOPを書いてもらうが、字が書けない子もいるので塗り絵のPOPを準備したり、家族の代筆でもOKにしている。
- ・POPを提出した時のスタンプカードやPOPを10枚提出した時の景品のメダルを首から下げられるようにしている。

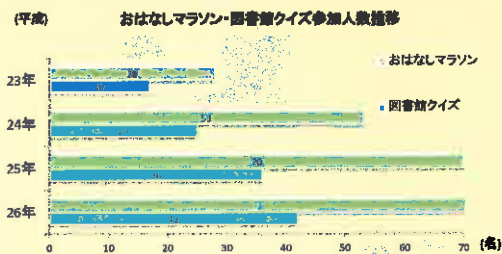
##### ○企画を実施して

- ・POPの塗り絵が楽しくてやっている子もいるが、結果的には本を読むきっかけになっている。(学生)
- ・クイズに正解しなくても本を探し回っていろいろな本に触れる機会になっていることが、この企画の良いところ。(学生)
- ・景品づくりなど大変な面もあるが、子どもたちがおはなしマラソンやとしょかんクイズを楽しみにしていると聞き、やりがいを感じる。(学生)
- ・「どの本でPOPを書く?」、「どこが面白かった?」など親子での対話が生まれた。(保護者)
- ・POPがあることで絵本選びの幅が広がる(参考になっている)。(保護者)
- ・他の子の姿やPOPを見て、自分ももっと書きたいと頑張っている光景を目にする。(司書)

#### としょかんクイズ

##### ○概要・工夫している点

- ・本を使って答えるクイズを年齢に合わせて4種類作っている。
- ・クイズはひらがな表記にしたり、ふりがなをふっている。
- ・不正解の場合は、アドバイスをし正解するまで調べてもらい、クリアすると各レベルの認定証と菓をプレゼントしている。



### 図書館の学外利用者に向けた活動

#### ○目的

本学公開講座「椿の道読書会」の受講者の方々との合同読書会。普段なかなか交流する機会がない方々と一つの題材について意見を述べ合うことで、全く違う価値観や物事の捉え方を身近で感じることができる。

#### ○概要・工夫している点

取り上げる本を学生が選んで当日までに読んできてもらう。当日は、参加者の名札を用意し、学生が司会・タイムキーパー・書記・板書をする。タイムキーパーを置くことで時間配分がスムーズに出来、参加者それぞれがまんべんなく発言出来るようにしている。

#### < 過去の開催 >

- H24年 8月 一般5名、学生5名、教員1名
- H25年10月 一般2名、学生8名、教員1名、司書1名
- H26年10月 一般6名、学生5名、司書1名
- 12月 一般7名、学生7名、司書1名



#### ○公開講座受講者の感想

- ・司会進行がはっきりしていて分かりやすかった。
- ・学生の発言が積極的で面白かったが、もう少し発言があっても良かった。
- ・老若お互いに刺激のある会であり機会があれば回数を増やしてほしい。

#### ○学生の感想

- ・受講者の方がとても積極的なので、学生も触発されて学生同士でやる読書会より進んで発言したり反論したりできるところが良い。
- ・受講者の方の意見は新鮮で、思いもよらない視点から切り込まれることがあるので面白い。



### これから実施したい活動&目標

#### 3キャンパス(浜田、出雲、松江)が連携することでの図書館活性化

#### ◇概要

3キャンパスの学生図書委員が交流をしてお互いの活動について話し合ったり、共同企画をしたりして図書館のあり方について考える。

#### ◇今までの取り組み

昨年度の2月に1泊2日で、3キャンパスの学生13名が参加して交流会を開いた。この交流会で各キャンパスの図書館見学や意見交換会で学生図書委員について考え、今後の活動にいかせるような話し合いができた。